子供の中耳炎

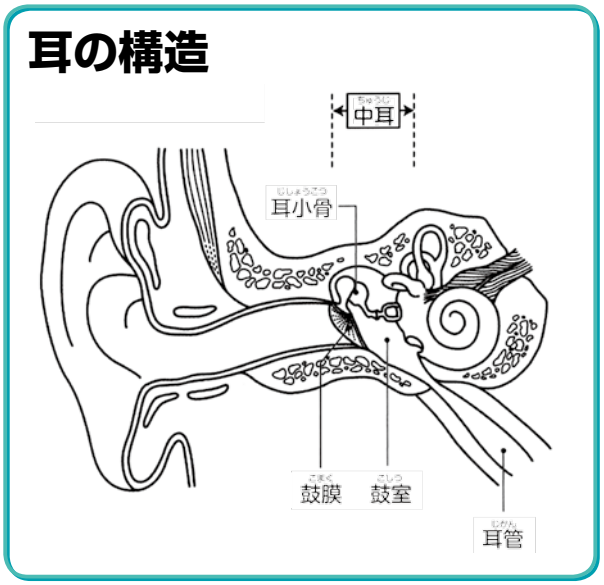
山本組合総合病院　耳鼻咽喉科
江戸　雅孝

はじめに

中耳炎は鼓膜の奥にある空洞（中耳）の炎症が原因となり、膿や水がたまる病気です。子供によく見られる中耳炎は急性中耳炎と滲出性中耳炎です。

耳の構造としくみ

耳は外耳、中耳、内耳に分かれます。中耳は鼓膜の奥の空洞（鼓室）の部分で耳管という細い管で鼻の奥とつながっています。中耳には耳小骨という小さな骨があり、鼓膜に伝わった振動を音として内耳に伝える働きがあります。また鼓膜の動きを調節するため耳管を通じて、鼓膜の中と外が同じ気圧になるよう空気を出し入れします。



急性中耳炎の症状と治療

急性中耳炎は子供の感染症の中でも最も頻度の多いものの一つです。風邪が原因であることが多く、鼻やのどに付着したウイルスや細菌が耳管を通じて中耳に入り感染を起こします。典型的な症状は耳の痛みや、ふさがった感じ、耳だれなどです。また熱を伴うこともあります。赤ちゃんの場合は、自分で症状を訴えることができないため、むずかったり、急に泣き出したり、耳によくさわることなどで表現することがあります。治療は薬物療法（解熱鎮痛剤や抗生物質）が中心ですが、鼓膜を切開し膿を出し治癒を促すこともあります。

滲出性中耳炎の症状と治療

中耳に水がたまり、耳の聞こえが悪くなる病気です。最近は増加傾向にあり治療に時間がかかり、再発することも多い病気です。鼻の病気（蓄膿症やアレルギー性鼻炎など）があり鼻すすりをすることや、アデノイド（咽頭扁桃）肥大が原因となり、耳管の通りが悪くなり、中耳内に分泌物が貯留し、鼓膜の動きが制限され難聴を引き起こします。耳がふさがった感じや耳鳴りを伴うこともあります。急性中耳炎と違い痛みや熱などはありません。そのため気がつかず経過することが多く、呼んでも返事をしない、聞き返しや聞き間違いが多い、テレビの音を大きくして、近づいてみている場合は注意が必要です。治療は通気療法（鼻から空気を送って耳管の通りを良くする）や鼻処置などの局所治療、薬物療法、外科的治療として鼓膜切開や再発を繰り返す場合は鼓膜チューブを留置します。アデノイド肥大が高度で耳管をふさいでいる場合は手術（アデノイド切除術）を行います。

最後に

中耳炎は治療が遅れると難聴の原因となり、治りにくくなります。耳に関する気になる症状があれば早めに耳鼻科を受診することをお勧めします。

山羊座（12・22～1・19）　サービス精神を発揮すれば、周囲との関係が改善する予感。素直に思いやりを示して。気分転換には音楽鑑賞を